

## &lt;福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ&gt;

(日報：平成24年6月1日 午後3時現在)

平成24年6月1日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

## 1号機（廃止）

- 平成23年3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- 平成23年3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- 平成23年12月10日午前10時11分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。  
現在の注水量は給水系配管から約 $3.4\text{m}^3$ /時、炉心スプレイ系注水配管から約 $1.9\text{m}^3$ /時です。
- 平成23年4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- 平成23年8月10日午前11時22分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- 平成23年11月30日午後4時4分、原子炉圧力容器へ窒素封入操作を開始しました。
- 平成23年12月19日午後6時、原子炉格納容器ガス管理システムの本格運用を開始しました。  
平成24年6月1日、原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施しました。
- 平成24年6月1日、原子炉建屋カバー排気フィルタ設備による原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施しました。

## 2号機（廃止）

- 平成23年3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- 平成23年3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- 平成23年9月14日午後2時59分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。  
現在の注水量は給水系配管から約 $2.9\text{m}^3$ /時、炉心スプレイ系注水配管から約 $6\text{m}^3$ /時です。
- 平成23年5月31日午後5時21分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- 平成23年6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- 平成23年10月28日午後6時、原子炉格納容器ガス管理システムの本格運用を開始しました。
- 平成23年12月1日午前10時46分、原子炉圧力容器へ窒素封入操作を開始しました。

## 3号機（廃止）

- 平成23年3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- 平成23年3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- 平成23年9月1日午後2時58分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。  
現在の注水量は給水系配管から約 $2.9\text{m}^3$ /時、炉心スプレイ系注水配管から約 $5\text{m}^3$ /時です。

- 平成 23 年 6 月 30 日午後 7 時 47 分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。(平成 24 年 5 月 31 日午後 1 時 41 分から午後 3 時 17 分まで、ヒドラジン〔腐食防止剤〕併せて注入実施)
- 平成 23 年 7 月 14 日午後 8 時 1 分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- 平成 23 年 11 月 30 日午後 4 時 26 分、原子炉圧力容器へ窒素封入操作を開始しました。
- 平成 24 年 3 月 14 日午後 7 時、原子炉格納容器ガス管理システムの本格運用を開始しました。
- 平成 24 年 4 月 11 日午後 2 時 47 分、使用済燃料プール塩分除去装置について、本格運転を開始しました。

#### 4号機（廃止）

- 平成 23 年 3 月 15 日午前 6 時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋 5 階屋根付近に損傷を確認しました。
- 平成 23 年 7 月 31 日午後 0 時 44 分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。  
使用済燃料プール一次冷却系のポンプ吸込ストレーナ交換を実施するため、平成 24 年 6 月 1 日午前 8 時 56 分、プールの冷却を停止しました（停止時プール水温度：約 31℃）。なお、停止期間は平成 24 年 6 月 3 日までを予定しており、プール水温度の上昇率は約 0.3℃/時と評価していることから、プール水温度の管理に問題はありません。
- 平成 23 年 11 月 29 日午前 10 時 58 分、使用済燃料プールにおいて塩分濃度を低減するためイオン交換装置の運転を開始しました。
- 平成 24 年 4 月 27 日午後 4 時 3 分、原子炉ウェルおよび使用済燃料プールの塩分除去を目的として新たに設置した塩分除去装置（モバイルRO装置）の運転を開始しました。

#### 5号機（定期検査で停止中）

- 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- 平成 23 年 3 月 19 日午前 5 時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- 平成 23 年 7 月 15 日午後 2 時 45 分、残留熱除去海水系ポンプ(B系)による残留熱除去系(B系)の運転を開始しました。
- 平成 23 年 12 月 22 日午前 11 時 25 分、補機冷却海水系ポンプ(B系)による補機冷却海水系(B系)の運転を開始しました。
- 平成 24 年 5 月 29 日午前 10 時 33 分、これまで機器ハッチを開口することにより行っていた原子炉格納容器内の排気について、原子炉格納容器内より直接行うため、震災以降停止していた原子炉格納容器排気ファンを起動しました。  
平成 24 年 5 月 30 日午前 10 時 30 分まで当該ファンの短期間運転を実施しました。その後、実施した主排気筒における気体廃棄物のガンマ線核種分析結果では、当該ファンの運転による影響は確認されなかったことから、6 月 1 日午前 10 時 30 分より連続運転を開始しました。

#### 6号機（定期検査で停止中）

- 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- 平成 23 年 3 月 19 日午後 10 時 14 分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- 平成 23 年 9 月 15 日午後 2 時 33 分、原子炉は残留熱除去系、使用済燃料プールは補機冷却系および燃料プール冷却系、各々の系統による冷却を開始しました。
- 平成 24 年 5 月 18 日午後 2 時 12 分、原子炉格納容器内の排気について、原子炉格納容器排気ファンによる連続運転を開始しました。

#### その他

- 平成 23 年 6 月 13 日午前 10 時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。

- 平成 23 年 6 月 17 日午後 8 時、水処理設備において滞留水の処理を開始しました。また、7 月 2 日午後 6 時、水処理設備による処理水を、バッファタンクを經由して原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
- 平成 23 年 8 月 19 日午後 7 時 41 分、セシウム吸着装置から除染装置へのラインと第二セシウム吸着装置の処理ラインの並列運転による滞留水の処理を開始しました。
- 平成 23 年 10 月 7 日午後 2 時 6 分、伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的とした構内散水を、5、6 号機滞留水浄化後の水を利用し、開始しました。
- 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、平成 23 年 10 月 28 日、1～4 号機の既設護岸の前面に海側遮水壁の設置に関する工事に着手しました。
- 平成 23 年 12 月 13 日午後 0 時 25 分、淡水化装置（逆浸透膜式）において、淡水化処理後の濃縮水発生量の抑制を目的とした、再循環運転による運用を開始しました。
- 平成 24 年 5 月 27 日午後 2 時 34 分、2 号機タービン建屋地下から集中廃棄物処理施設（雑固体廃棄物減容処理建屋 [高温焼却炉建屋]）へ溜まり水の移送を開始しました。
- 平成 24 年 5 月 19 日午前 9 時 15 分から 6 月 1 日午前 9 時 58 分まで、3 号機タービン建屋地下から集中廃棄物処理施設（雑固体廃棄物減容処理建屋 [高温焼却炉建屋]）へ溜まり水の移送を実施しました。
- 平成 24 年 5 月 26 日午前 11 時頃より、4 号機使用済燃料プールスキマサージタンクの水位が上昇傾向にあることが確認されたため、4 号機使用済燃料プールで運転中の塩分除去装置（モバイル RO 装置）の状態について確認を行いました。その結果、入口側流量計の不調が確認されたため、同日午後 3 時 21 分に同装置を停止しました。流量計については修理を実施する事とし、スキマサージタンク水位の上昇については現在調査中です。
- 平成 24 年 5 月 27 日午前 4 時 1 分、3 号機使用済燃料プールの塩分除去装置にて警報が発生し、塩分除去装置が自動停止しました。現場を確認したところ、停止による水の漏えい等は発生しておらず、使用済燃料プール冷却系は停止しておりません。停止した原因については現在調査中です。
- 発電所西門に設置してある可搬型モニタリングポストについて、平成 24 年 5 月 29 日午後 0 時 30 分頃、データが免震重要棟監視盤にて読み取れない事象が発生していることを確認しました。また、代替監視用の無線式のモニタリングポストについてもデータが免震重要棟監視盤にて読み取れない事象が発生していることを確認しました。同日午後 0 時 30 分から同日午後 7 時 30 分の値については、現場での作業員による代替測定を実施しました。その後、受信機から端末へ伝送する装置の電源リセットを行い、同日午後 7 時 39 分に無線式モニタリングシステムが復旧したことから、同日午後 8 時以降のデータ値については、無線式モニタリングシステムによるデータ採取を継続しており、データの欠測はありません。  
その後、平成 24 年 5 月 31 日午前中に現場確認を行ったところ、当該モニタリングポストの伝送ケーブルに断線が確認されたため、当該ケーブルの補修を実施しました。また、伝送ケーブルのコネクタ部の端子に腐食が認められたことから、コネクタ部を除去して、直に当該ケーブルの結線を実施し、その後、受信端末盤のリセット操作を実施したところ、同日午後 1 時頃、復旧しました。午後 1 時以降、事象の再発等がないか、監視を実施していたが、問題がないことから、同日午後 6 時より、可搬型 MP によるデータ採取を再開しました。
- 平成 24 年 5 月 31 日午前 8 時 36 分、第二セシウム吸着装置において、フィルタの逆洗をするため、当該装置を一時停止しました。同日午後 3 時 35 分に同装置を起動し、定常流量（約 40.0 m<sup>3</sup>/時）に到達しました。
- 平成 24 年 6 月 1 日午前 10 時、6 号機タービン建屋地下から仮設タンクへ溜まり水の移送を開始しました。
- 平成 24 年 6 月 1 日午後 2 時 22 分、1 号機タービン建屋地下から 2 号機タービン建屋地下への溜まり水の移送を開始しました。

以 上